

事業所名

児童発達支援事業所ドルフィン庭瀬

支援プログラム

作成日

7年

1月

24日

法人（事業所）理念		株式会社ドルフィン・エイドの基本理念は「皆に優しく、共に楽しく」です。幼児から障がい者そして高齢者まで、お互いに優しく、心の底から楽しく生きていくことができる「ふつうの暮らし」こそ、かけがえのない素晴らしいものと考えます。私達は、このようなノーマライゼーションの考え方を実践するために、日夜努力を惜しみません。私達の実践を、施設から、町全体へ、日本中へとつなげ、拡げていきたいと願っています。								
支援方針		利用児一人ひとりの意思と尊厳を守り、「様々な経験を通じて、できることを増やすこと」の実現に向けて、障がい児通所支援サービスを提供します。								
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	食事や排泄、衣類の着脱等の基本的な生活スキル獲得を目的に、スプーンや箸の操作、スモックの着脱、トイレトレーニング等の支援を行っています。スモックの着脱は、個別療育で感触遊びを取り入れて遊びの中で行うことで、楽しみながら必要なスキルが身に付けられるように支援しています。おやつの際にも、必要なお子さんはスモックの着脱を取り入れています。スプーンや箸の操作も、お子さんが楽しみながら取り組めるように課題を設定しています。トイレトレーニングは、排尿間隔も考慮しながら療育中に定時で誘い掛けています。								
	運動・感覚	感覚に偏りのあるお子さんが、落ち着いて机上課題に取り組めるように活動内容やスケジュールを設定しています。縄跳びや鉄棒等、運動に苦手意識のあるお子さんが楽しみながら成功経験を積めるように、お子さんの課題を見極めながらスモールステップで課題設定をしています。								
	認知・行動	NCプログラムや太田ステージを使用して発達段階を把握した上で、数概念や色名、カテゴリー等の課題に取り組んでいます。興味関心が持てるように、お子さんの好きな遊びの中で課題を行っています。								
	言語コミュニケーション	NCプログラムや太田ステージを使用して発達段階を把握した上で、遊びの中で名詞や動詞、形容詞等の理解・表出課題を行っています。注意喚起の方法（呼名をする・近くまで行く・肩を叩く等）や、言語以外の要求方法（カード・ジェスチャー）も活動の中で伝えています。								
	人間関係社会性	ソーシャルスキルトレーニングやソーシャルストーリーを取り入れ、勝敗の受け入れや助けの求め方、気持ちの伝え方等を支援しています。実際の場面も設定し、まずは職員と行ってからお友達と行うことで、スモールステップで成功経験が積めるように支援を行っています。								
家族支援		半年に一度、面談の機会を設けています。ご希望がある場合は、都度面談のお時間を設けています。家庭での困り感や不安等について聴き取りを行い、対応方法や支援方法についてご家族の方と一緒に検討しています。				移行支援		就学前の移行支援として、サポートブックの作成をしています。転居に伴う転園時にも、サポートブックの作成を提案しています。		
地域支援・地域連携		通われている園に訪問したり、園の先生に事業所の様子を見て頂いたりすることで情報共有を行い、地域でも必要な支援が行えるように取り組んでいます。				職員の質の向上		毎月事業所内研修を実施しています。オンラインの外部研修も取り入れ、職員の質の向上に努めています。		
主な行事等		年に2回、茶話会やサポートブック作成会等の保護者会を開催しています。地域のお祭り「まちかど博物館」にも参加しており、子どもたちが作った制作作品を展示したり、地域のお子さんが遊べるように廃材遊びのコーナーを設けたりすることで、地域に開けた事業所運営を行っています。								